

關東州市制中改正ノ件第一回審査委員會

昭和十四年三月七日(火曜日)本院事務所ニ

於テ開會

出席者

原 副議長

審査委員長

河合 顧問官

審査委員

窪田 顧問官

國務大臣

石塚 顧問官

清水 顧問官

南 顧問官

菅原 顧問官

潮 顧問官

板垣 陸軍大臣
兼對滿事務局總裁

説明員

黒崎 法制局長官

森山 法制局參事官

原 對滿事務局次長

關 對滿事務局事務官

今吉 關東局司政部長

御厨 關東局事務官

坂内 務省地方局長

副島 拓務省管理局長

村上 書記官長

堀江 書記官

高辻 書記官

(午後一時三十分開會)

河合委員長開會ヲ宣ス

板垣陸軍大臣兼對滿事務局總裁ヨリ本案ノ概要ニ付、原對滿事務局次長ヨリ其ノ詳細ニ亘リ説明アリ

河合委員長ハ各委員ニ對シ板垣陸軍大臣兼對滿事務局總裁公務ノ都合上會議ノ中途ニ於テ退席ニ付之ニ對スル質問ヲ先ニスベキ旨ヲ述ブ

南顧問官及石塚顧問官ハ夫々内務大臣及拓務

大臣ノ出席ヲ希望スル旨ヲ述ブ

仍テ河合委員長ハ次回ニ内務、拓務兩大臣ノ出席ヲ求メ本日ノ會議ハ之ニテ打切ル旨ヲ告ゲ開會ヲ宣ス

(午後一時五十五分開會)

關東州市制中改正ノ件第二回審査委員會

昭和十四年四月七日(金曜日)本院事務所ニ於

テ開會

出席者

原 副議長

審査委員長

河合 顧問官

審査委員

窪田 顧問官

國務大臣

石塚 顧問官
清水 顧問官
南 顧問官
菅原 顧問官
潮 顧問官

木戸 内務大臣

板垣 陸軍大臣
兼對滿事務局總裁

八田 拓務大臣

説明員

黒崎 法制局長官

森山 法制局参事官

原 對滿事務局次長

關 對滿事務局事務官

今吉 關東局司政部長

御厨 關東局事務官

坂 内務省地方局長

副島 拓務省管理局長

村上 書記官長

堀江書記官
高辻書記官

(午後二時五分開會)

河合委員長ヨリ本案改正要點タル市政ニ官治的
色彩ヲ加味セントスルノ理由ニ付説明ヲ求メタル
ニ對シ原對滿事務局次長及今吉關東局司政
部長ヨリ夫々説明アリ南顧問官亦同様趣旨
ノ質問ヲ爲シ原對滿事務局次長之ニ答フ
窪田顧問官ハ自治制度ニ對スル政府ノ見解ヲ訊

シタルニ對シ木戸内務大臣ヨリ關東州ニ於ケル自
治制度ノ改正ハ特殊事情ニ基クモノニシテ自治制
度一般ニ付テハ徒ラニ自由主義其ノ他ノ主義ヲ追
フコトナク慎重ニ考究ノ上必要ナル改善ヲ加ヘタ
シト考フル旨ヲ答フ同顧問官ハ更ニ市ノ負擔ノ輕
減ニ付質問シ原對滿事務局次長市制改正ノ結果
市ノ負擔スル費用ノ増嵩ヲ來サザルヤウ考慮
シ當分關東州地方費ヲ其ノ儘之ニ交付シ將來
ハ獨立ノ財源ヲ與フベキ旨ヲ述ブ
石塚顧問官ハ外地ノ統治經營ニ對スル指導原則

ヲ訊シタルニ對シ八田拓務大臣及原對滿事務局次長ハ今回關東州ノ市制ヲ改正セントスルハ之ヲ他ノ外地ノ制度ニ近接セシムベク考慮セルモノニシテ朝鮮臺灣等ノ外地ノ制度ハ民度ノ進展ニ伴ヒ漸次内地ノ制度ニ近接セシメントスル旨ヲ述ブ南顧問官ハ輒近論議セラルル自治ノ後退ニ付内務大臣ノ所見ヲ訊シタルニ對シ木戸内務大臣ハ普通選舉ノ實施以來議員ノ素質惡化シタル爲メ議決機關ニ付選舉ニ依ラズシテ有能ナル者ヲ選出シ又各種團體ノ代表者ヲ之ニ加ヘントスル

ノ論議アリ都制ニ付テモ都長公選ノ論アリ何レモ制度ノ學問的討究ヨリスレバ自治ノ後退タルベク從ツテ議論必ズシモ歸一セズ本問題ニ付テハ現内閣ニ於テモ目下研究中ニシテ未ダ結論ニ到達セザル旨ヲ答辯ス同顧問官ハ尚副市长ノ職務關係ヲ定ムル規定ヲ問ヒタルニ對シ關對滿事務局事務官及森山法制局參事官副市长ノ國ノ行政ニ關スル職務ニ付テハ關東局官制第二十四條ノニ市ノ行政ニ關スル職務ニ付テハ關東州市制第十九條ノニ依ル旨ヲ答フ

管原顧問官ハ關東州ニ於テ自治ノ行ハルルハ不適
當ナリトシ關東州ニ於ケル市制ヲ廢止シ又ハ本案
ノ實施ヲ延期スルコトニ付當局ノ意見ヲ求メタル
ニ對シ原對滿事務局次長本案内容ニ對スル現地
ノ希望切實ナルモノアルニ付之ヲ速ニ實施シタキ旨
ヲ述ブ

潮顧問官ハ從前ノ關東州市制ニ於テハ市ニ事務ヲ
委任シ、市會ノ權限事項ヲ定メ又ハ費用ノ負擔ヲ
命ズルハ總テ法律勅令ニ依ルモノトセラレタルガ改
正規定ニ於テハ之ヲ法令ニ依ルコトトシ關東局令

ヲ含マレムルコトトシタルハ自治權ヲ縮少セシムル
モノニシテ殊ニ市ノ財政、市民ノ負擔ニ大ナル影響
ヲ與フル虞アリト論ジ之ガ對策ヲ問ヒタルニ對シ
原對滿事務局次長ハ市民ノ負擔ハ之ヲ増加セシメ
ザルヤウ努ムベク市ノ財政ニ付テハ將來確定財源ヲ
與フル等適當ナル措置ヲ講ジタキ旨ヲ述ブ
河合委員長ハ右ヲ以テ本日ノ質問ハ之ヲ打切ル旨
ヲ告ゲ閉會ヲ宣ス

(午後五時三分閉會)

關東州市制中改正ノ件第三回審査委員會

昭和十四年四月八日(土曜日)本院事務所

於テ開會

出席者

原 副議長

審査委員長

河合 顧問官

審査委員

窪田 顧問官

國務大臣

石塚 顧問官

清水 顧問官

南 顧問官

菅原 顧問官

潮 顧問官

板垣 陸軍大臣
兼對滿事務局總裁

小磯 拓務大臣

説明員

黒崎 法制局長官

森山 法制局参事官

原 對滿事務局次長

關 對滿事務局事務官

今吉 關東局司政部長

御厨 關東局事務官

副島 拓務省管理局长

村上 書記官長

堀江 書記官

高辻 書記官

(午後二時四分開會)

河合委員長開會ヲ宣ス

本案ノ逐條的審議ニ入り各顧問官ト説明員トノ
間ニ種々質疑應答アリ

就中石塚顧問官ハ關東州ノ統治經營ニ對スル指
導原則及其ノ他ノ外地ニ對スル影響ニ付國務大
臣ノ所見ヲ訊シタルニ對シ板垣陸軍大臣兼對滿
事務局總裁ハ關東州ハ滿洲國ト關係深ク日滿
一體不可分ノ見地ニ基キ兩者ノ關係ヲ緊密ニシ

其ノ運營ヲ一ニセンコトヲ述べ、小磯拓務大臣ハ
關東州ハ我が租借地ナルガ故ニ該制度ハ之ヲ内地
ニ近似セシムルヲ要スト考フルモ地理的、文化的ニ
特殊ナル地域ナルヲ以テ依然特殊ナル取扱ヲ爲サ
ザルヲ得ズ而モ其ノ特殊性ニ依リ關東州ニ於ケル
施設ガ直チニ他ノ外地ニ影響ヲ及ボスコトナカルベキ
旨ヲ述べ

同顧問官ハ尚關東州ハ内地ヨリモ滿洲國ヨリ影響
ヲ受クルコト多カルベキ旨ヲ述べ當局ノ留意ヲ促
ス

河合委員長ハ前回ノ會議ニ於テ菅原顧問官ヨリ開陳アリタル關東州ニ於ケル市制撤廢ノ意見ニ付對滿事務局總裁ノ所見ヲ求メタルニ對シ板垣總裁ハ本案ハ關東州都市ニ於ケル從前ノ自治ノ行過ギラ是正セントスルモノニシテ自治ヲ全然認メザルニ付テハ議論ノ餘地アリ將來更ニ研究スベキ旨ヲ答フ河合委員長質問終了ト認メ國務大臣及説明員、退席ヲ求ム

(國務大臣及説明員退席)

其ヨリ委員間ノ協議ニ入り各員ヨリ本案ニ對ス

ル所見ノ開陳アリ就中南顧問官ハ關東州ニ於ケル自治ノ後退ガ内地ニ影響ヲ及ボサザルヤウ特ニ留意スルヲ要スル旨菅原顧問官ハ關東州ニ於テハ寧ロ官治ヲ徹底セシムルニ如カザルモ當局ノ將來ノ研究ニ信賴シ賛成スル旨ノ陳述アリ結局本案ハ原案ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベキ旨全會一致ヲ以テ決定セリ

(午後四時四十五分閉會)

四

青年學校令改正ノ件第一回審査委員會

昭和十四年四月十二日(水曜日)本院事務所

ニ於テ開會

出席者

近衛議長

審査委員長

河合顧問官

審査委員

有馬顧問官

監
審
院